

小平市議会議長
磯山 亮 様

＜新型コロナウイルス感染症対策に対する要望＞

政和会
令和2年4月28日

新型コロナウイルス感染症対策に伴い生じる財政需要の増加に対して、感染症対策に直接要する経費に加え、都民生活や地域経済を支えることに資する経費などを幅広く支援するため、新たに「東京都市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金」が創設されました。この動きを踏まえるとともに、市民の声を広く届けるべく、小平市議会政和会として第4回目の新型コロナウイルス感染症対策に対する要望致します。当局におかれましては、鋭意ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

- 1) 市内飲食店のテイクアウト支援施策を市独自で創設する事
- 2) 子育て世帯支援のため児童手当に新たに市独自で加算を行い給付をする事
- 3) 市内事業者へ市独自で家賃補助等を行うなど、市内経済を支える具体的な施策を講じる事
- 4) 東京都の休業要請において協力金の対象外となっている事業者へも市独自で支援を行う事
- 5) コロナウィルス対策専用窓口を設置する等、市民に最も近い行政としての最善の体制を構築する事。また、千葉県市川市の「特別定額給付金課」のように専門部署を時限的にでも設ける事で迅速かつ、コロナウィルス対策の知識を有する専門家集団を擁し市民を守る行政の力を最大限発揮できる体制を構築すること。
- 6) 診療材料の不足(N95 マスク、ゴーグル、防護服等)の確保など医療機関への物資の支援を行うとともに、医師会などと連携を行い市内医療機関の物資不足の情報等を常に見える化をし、把握に努めるとともにそのことに対する医療支援を十分に行う事
- 7) 児童生徒の学習スケジュールの遅延、運動不足の解消、コミュニケーション能力醸成等様々課題が生じている。その解決手段として ICT 教育を強く推進する事。この際、これまでの情報セキュリティポリシーの改善を図ることや、民間の I C T 教育のノウハウを積極的に取り入れることで、児童生徒への学習や教育できる体制を大至急構築すること。
- 8) 外出を自粛する市民の心のケアや自宅での DV や虐待の発生防止に取り組むとともに

に、在宅の一人暮らし高齢者に対する見守り等の取組の実施について、電話による支援等、関係機関等と連携した支援に取り組むこと。

以上